

# 「学校部活動の地域展開」～山梨県の現状と今後の取り組み～

資料 3

部活動改革の理念：『将来にわたって子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実する』  
 ※学校教育の質の向上にも資する学校における働き方改革の推進を図ることなどについても考慮する

改革推進期間  
【令和5年～令和7年】

改革実行期間（前期）  
【令和8年～令和10年】

中間  
評価

改革実行期間（後期）  
【令和11年～令和13年】

『期間内に、原則、休日の  
地域展開の達成を目指す』

県が示すロードマップ

- R7年度末までに、全市町村において、「協議会等の設置・運営」、「運営体制の構築」の完遂
- R8年度は、全市町村で1つ以上の地域クラブ活動を実施

【現状】  
協議会等の設置 27市町村  
地域クラブ活動実施 27市町村  
(体験会を含む)

市町村の現状と課題

☆改革が前進している市町村

- ・コーディネーター配置済み
- ・関係者との好連携
- ・トライ&エラーの実施
- ・地域指導者の積極的確保

【課題】

- ・活動充実のための人材確保
- ・費用負担の整理
- ・大会参加の条件整理
- ・教員の兼職兼業への依存

☆改革が停滞している市町村

- ・コーディネーター未配置
- ・関係者との連携不足
- ・自治体内の財源不足
- ・自治体内の指導人材不足

【課題】

- ・運営団体、実施主体の未検討
- ・具体的な情報未発信
- ・町村間の連携が進まない
- ・学校部活動の継続実施

課題への県の対応

課題	具体的な取り組み等
人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「スポカルやまなし」の新システム導入</li> <li>・指導者の量の確保（活用の周知・促進）</li> <li>・指導者の質の確保（指導者研修システム）</li> <li>・指導者以外関係者の確保（大会運営者等）</li> <li>○地域おこし協力隊の活用促進</li> </ul>
運営団体・実施主体・費用負担の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「やまなし版新ガイドライン」の策定・周知</li> <li>・県方針及び市町村取組目標の提示</li> </ul>
具体的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校部活動の在り方について周知・徹底</li> </ul>
町村間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な連携の推進・伴走支援</li> <li>○文化部活動専門のコーディネーター設置</li> </ul>
大会参加条件の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県小中体連等の各種団体との連携・協議</li> </ul>

- 学校部活動における教員の負担軽減
- 教員の兼職兼業への依存軽減
- 大会運営等における教員の負担軽減